

## 修行その 3

## 用語解説



お薬手帳くん



けんぽーくん

## お薬の管理の仕方

## 重複服薬

重複服薬とは、同じ成分や作用を持つ複数の薬を、誤ってまたは知らずに重ねて服用してしまうことを指します。この状況は、複数の医療機関で処方を受けたり、同じ効果を持つ市販薬と処方薬を同時に使用したりすることで起こりやすくなります。重複服薬は、副作用のリスクを高めたり、薬の効果を過剰に受けることで健康に害を及ぼす可能性があります。これを防ぐために、薬の服用状況をしっかりと把握し、医師や薬剤師にすべての使用薬を伝えることが重要です。薬を管理する際には、薬局での服薬指導やお薬手帳の活用が有効です。

## はしご受診

同じ症状や病気について、複数の医療機関を次々と受診することを指します。患者が医師の診断や治療に納得できなかったり、より早く治療を受けたいと感じたりする場合に発生しがちです。しかし、はしご受診には、診断や治療が一貫しない、重複検査や重複処方が発生するなどのデメリットがあり、医療費の無駄や体への負担が増えるリスクがあります。また、医師に正確な診断情報を提供することが難しくなるため、適切な治療が遅れる可能性もあります。適切な診療を受けるためには、信頼できる医療機関を選び、一貫した治療方針に従うことが大切です。

## ポリファーマシー（多剤併用）

ポリファーマシー（多剤併用）とは、複数の病気や症状を治療するために、6種類以上の薬を同時に使用することを指します。特に高齢者や慢性疾患を抱える患者に多く見られますが、必要以上に多くの薬を服用することで、副作用のリスクが高まり、薬同士の相互作用による健康被害が発生する可能性があります。また、服薬管理が難しくなり、飲み忘れや重複服薬のリスクも増加します。定期的に医師や薬剤師と服用薬の見直しを行い、不要な薬を減らすことが重要です。また、患者自身が薬の服用状況を把握し、疑問があれば専門家に相談することも大切です。

## ポリファーマシーのリスクについて

ポリファーマシーのリスクには、薬剤間の相互作用や副作用の増加が含まれます。複数の薬を服用することで、体内での薬の働きが予測しにくくなり、効果が重複したり、副作用が悪化する可能性があります。また、誤った服用や薬の管理の不備が健康を損なうリスクを高めます。適切な医療管理と定期的な薬の見直しが重要です。

## お薬手帳の活用法

お薬手帳は、服用中の薬剤やその履歴を一元管理するためのツールです。医療機関や薬局での診察や調剤時に提示することで、重複処方や薬剤間の相互作用を防ぎます。さらに、急病や災害時に正確な薬の情報を提供でき、迅速な対応が可能になります。定期的に記入・更新し、医師や薬剤師と共有することで、適切な薬物療法を維持できます。お薬手帳の活用は、ポリファーマシーのリスク軽減や患者の健康管理に大いに役立ちます。